

去年のこの季節、トルコ十五日間の旅に参加したが、ツアーリーの参加者の多くは九州の人だつた。数少ない山口県から参加の山本雅一氏と親しくなった。私は元校長で、最後は教育長まで務めた人である。

最近は個人情報保護法を守るために参加者の名簿もくれない。妻との旅をするのに参加者名簿も妻とだけ行動することになり、他の参加者

続いている。昨秋、私が肺炎に、

一人旅の彼は同県人ということもあり、旅の終わりごろは部屋を訪れてビールを一緒に飲むまでになつた。そして最後に「写真を送るから住所を教えて下さい」と言わされた。

旅での「一期一会」も悪くない。しかしだの出会いで終わらずに、その出会いを育むことが、自分が想像していた以上に大切なことに思えた。

出会いを大切にし、育む努力をしていたらもつと人生は豊かになつていたに違いない。山本氏はさらに「男性の出会いで終わらずに、その出会いを育むことが、自分が想像していた以上に大切なことに思えた。



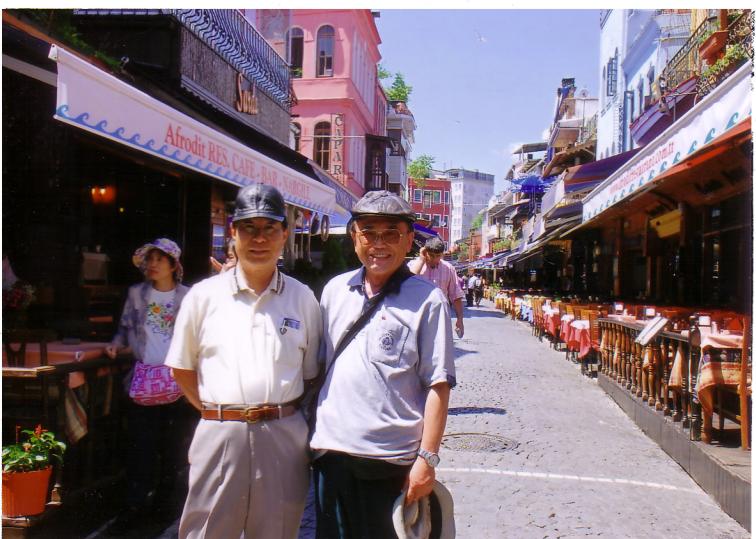
出会いを育む

サビエル生誕五百年

藤屋侃士
(下松市幸ヶ丘)

105

革の帽子が千円と言われて
山本氏(左)と買った



同行され、結局、三人で旅をしたからだ。というより韓国では山本氏の友人の韓国の高校の校長が三日間、同伴して下さり、四人衆の旅となつた。

私もカトリック教会を通じて日韓の若者の交流をしたが、山本氏はさうした旅にそれのが、次回から山本氏との安東旅行を書きたい。これまで出会いを大切にしながら、山本氏との安東旅行を書きたい。これからを大切に歩みたい。それが巡礼の心であろう。(元山口放送取締役ラジオ局長)

出会いは関わりの第一歩である。その関わりを育むことが人生を豊かにしてくれるのだろう。

も現役時代、修学旅行を通して日韓の交流をし、今年も韓国から六月末に修学旅行生が来ることになつていてとある。その手際のよさにびっくりした。三人衆とあるのは彼らの友人の元校長先生も

で、四月末に韓国を訪ねた。帰国して一週間もたないうちに「熟年三人衆安東旅行記」という旅の記録と写真が送られてきた。トルコ旅行同様、その手際のよさにびっくりした。

三人衆とあるのは彼らの友人の元校長先生も同行され、結局、三人で旅をしたからだ。というより韓国では山本氏の友人の韓国の高校の校長が三日間、同伴して下さり、四人衆の旅となつた。

私もカトリック教会を通じて日韓の若者の交流をしたが、山本氏はさうした旅にそれのが、次回から山本氏との安東旅行を書きたい。これまで出会いを大切にしながら、山本氏との安東旅行を書きたい。これからを大切に歩みたい。それが巡礼の心であろう。

出会いは関わりの第一歩である。その関わりを育むことが人生を豊かにしてくれるのだろう。

横道にそれのが、次回から山本氏との安東旅行を書きたい。これまで出会いを大切にしながら、山本氏との安東旅行を書きたい。これからを大切に歩みたい。それが巡礼の心であろう。

出会いは関わりの第一歩である。その関わりを育むことが人生を豊かにしてくれるのだろう。